

## 滝子界限 2007年5月

愛知学長懇話会コーディネート科目「持続可能な社会」を今年度2回担当している。わたしのテーマは『『まち』の活性化と大学』であり、1回目には「元気な名古屋」の背景と実態、問題点をまちづくりと関らせて話した。パワーポイントで多くの写真、社会調査実習でやった円頓寺商店街の映像を使って、できるだけビジュアルに話した。

熱心な受講者が多く、2回目の講義に向け大学近くの滝子商店街を歩いた。3年ほど前に調査した頃と比べ、やはり空き店舗が増えているようだ。連休中の午後ということもあるが、商店街は閑散としていた。空き店舗が増えて「シャッター通り」になると、商店街の「街」としての連続性もなくなってくるようだ。



信号を越えて歩くと、市場があったところが空き地となっており、「医院開業予定地」という看板が立っている。この市場を利用していた人、とくにお年寄り、どこに買い物しているか気になった。

その近くに「魚屋」の看板がかかった店があった。このときは閉まっていたが、新しく店を構えた感じだ。私たちのアンケート調査でも本屋と



ともに、魚屋さんなどの要望が多かったので、店をまた見に行きたい。桜山や博物館前とは違い、滝子商店街を活性化していくには課題が多い。大学近くの「商店街をどうしようてんがい」であり、また学生に問題を投げかけていきたい。

(2007年5月6日 記)